

令和6年度

事業報告書

特定非営利活動法人グローイングピープルズウィル

1 事業の成果

杉並区およびその周辺にお住いの視覚障害者に対して支援の質・量ともに拡大した。

1) ． 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

相談員は理事長、常勤職員、非常勤職員の4名と2名増員してスタートしたが、年度途中で退職者が出たため、年度末には3名になった。相談利用者は170名程度。

視覚障害者支援の事業所として杉並区に対して、様々な場面で助言、提言を行っている。関係はいたって良好である。年々、相談利用者が増加している。利用者に対して公的サービスだけでなくインフォーマルなサービス情報も提供することで利用者のQOLをあげている。主任相談支援専門員として自立支援協議会に参加し杉並区の障害福祉向上に寄与している。

相談支援事業の重要性が高まると同時に、相談の質を上げる国の方針もあり、昨年度に引き続き黒字になった。

2) ． 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

同行援護事業を行っている。利用者は100名程度。ガイドヘルパーは常勤を含めて60名程度稼働しているが、慢性的なガイドヘルパー不足は続いている。

移動支援事業において、世田谷区の障害児の通学を支援している。

代筆・代読事業、重度障害者等就労支援特別事業など杉並区は23区内で先駆的な支援も行っており事業に厚みを加えた。厚みが加わることで事務作業が煩雑化し、事務作業が増えている。

事務のIT化を進めるためリンクインフィニティと契約し、当初目標であった国保連請求のIT化の実現性が見込めないことから年度末に契約を解除した。IT化は、事業所独自の人脈などを頼りに進める方針転換を図った。人件費、IT促進を図る中で今年度も黒字を保った。

3) ． 道路運送法に基づく福祉有償運送事業

今年度も助成金を申請できる最低ラインである500トリップを達成し助成金（約130万円）を受けることができた。利用者は30名程度。同行援護事業を補完する事業として位置付けている。

タクシーアプリを利用できない高齢視覚障害者の足となっている。この事業の認知度は低く、アピールの必要性は高い。事業に参画してから助成制度、助成金額は変わっておらず、経営面では構造的な課題を抱えている。

4) ． まちづくり事業

令和6・7年度 杉並区協働提案事業である「住民（移動制約者）参加によるユニバーサルデザインのまちづくり ～実りある対話を行う～」の1年目が一定の効果を挙げて終了した。

コミュニティふらっと高円寺南 設計業務に加わった。令和7年3月完成。

視覚障害者の屋外でのスマホ利用を広く知っていただく動画作成事業（スマホでブラインドライフ）を行った。次年度も継続する。

杉並区後援のiPhone講習会（3日間）を開催した。

杉並区の様々な委員会（ユニバーサルタイムと称した障害者のスポーツ参加事業、しかけ隊と称した心のバリアフリー促進事業）に出席し助言をしている。

5) ． 視覚障害者の生活を豊かにする事業

・ 高齢視覚障害者のためのストレッチ教室をゆうゆう今川館において月に2回のペースで行っている。参加者10名程度

・ 板書しないフランス語教室を月に1回開催している。NPO法人エルブから教室提供を受ける。参加者7名程度

・ 高齢視覚障害者の健康増進のため、音楽療法を取り入れた集いの場を2か月に1回開催した。講師はロービジョンの当事者 参加者10名程度

・ ファミリーの会の協力で視覚障害者の社交ダンスを天沼集会室で月に3回のペースで行っている。

参加者 3名

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【83,602】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業	障害者に対して、サービス等利用計画を作成し、福祉サービスを効率よく提供し、障害者の生活を支える。	毎日	杉並区 新宿区 中野区 練馬区 小金井市	3名	実施地域 在住者 視覚障害者	約 170名	9,361
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	視覚障害者に対してガイドヘルパーを派遣する。	毎日	杉並区及びその周辺自治体	60名	実施地域 在住者 視覚障害者	約 100名	64,060
障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業	世田谷区にお住まいの視覚障害者に対して通学ガイドヘルパーを派遣する。 杉並区にお住いの視覚障害者に勤務時間中に同行援護と同等の支援を行う。 杉並区にお住いの視覚障害者に自宅に上がって代筆・代読支援を行う。	毎日	杉並区及びその周辺自治体	60名	実施地域 在住者 視覚障害者	約40名	2,921
道路運送法に基づく福祉有償運送事業	視覚障害者の足として活動している。	随時	杉並区内 発着	3名	実施地域 在住者 視覚障害者	約30名	5,079
自治体と協同で行うまちづくり事業	自治体から移動制約者に配慮した設計を請け負っている。	毎日	杉並区	1名	杉並区民	—	2,081
視覚障害者の生活を豊かにする事業	視覚に障害があっても楽しめるイベントを定期的で開催し、孤立しがちな視覚障害者(特に高齢視覚障害者)の地域生活を後方から支える。	第1.3火曜日 第2土曜日 第2.4月曜日 第3木曜日	西荻地域 区民センター NPO法人 エルブ ふらっと 天沼	3名	実施地域 在住者 視覚障害者	約30名	100